

下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会

開催主旨

1. 開催概要

人口減少・超高齢化社会を迎えるなど社会情勢が大きく変化する中、我々のライフスタイルや働き方について見つめ直すことが求められている。それと同時に、我々の日々の生活や社会活動を支える下水道システム、下水道サービスのあり方についても時代の要請に応じた新たな取組が必要となる。

「下水道・LIFE・えんじん研究会」が平成 28 年 12 月にとりまとめた報告書では、介護の現場での利便性等、高齢化社会への貢献が強く期待されるとして、下水道に紙オムツを受入れて集約処理するシステムが提案された。

国土交通省としても、平成 29 年 8 月にとりまとめた「新下水道ビジョン加速戦略」の中で、高齢化社会等への対応として、ディスポーザーの活用及び下水道へのオムツ受入れ可能性を検討することを重点施策として掲げている。

こうした動きを踏まえ、下水道に紙オムツを受け入れた場合に想定される影響ならびに実現のために必要となる検討事項について整理し、その上で下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討について、多角的に検討・審議するために本検討会を設置する。

(参考)「新下水道ビジョン加速戦略」(平成 29 年 8 月)の該当箇所

重点項目「下水道の活用による付加価値向上」

(1) 住民の生活利便性の向上

- 高齢化社会等への対応としてのディスポーザーの活用及び下水道へのオムツ受入れ可能性の検討(オムツ素材・オムツ分解装置・宅内配管等における検討と連携した下水管渠調査・実証実験の実施、トイレに流せる製品等も考慮した下水道施設や水処理などに悪影響を及ぼさないための下水道への受入れ基準検討、費用負担の考え方の検討、利用者の適正利用遵守方策等)【技術開発・実証、制度構築】

2. 検討会の公開について

- 検討会は原則として冒頭のみ公開とし、審議は非公開とする。ただし、審議の必要上、座長が必要と認める者については、審議への出席又は傍聴を行うことができる。
- 検討会の資料は原則として公表とする。ただし座長が特に必要と認める場合は、その一部または全部を非公表とすることができる。
- 検討会の議事概要は出席者の確認を取った上で公表する。
- 検討会資料及び議事概要については、検討会后、国土交通省のホームページに公表する。

3. 審議内容及びスケジュール(案)

検討会での審議内容及びスケジュール(案)は以下のとおりとする。

○ 第1回（平成30年1月31日）

<主な審議内容>

- 下水道への紙オムツ受入時の課題の抽出と対応方針

○ 第2回（平成30年3月13日（予定））

<主な審議内容>

- 下水道への紙オムツ受入に向けた検討ロードマップ

以上